

令和4年度市政モニターへの「ユニバーサルデザインに関するアンケート」 集計結果

【調査目的】 ユニバーサルデザインに関して、日頃感じていることや意見、提言等を伺い、今後の取組の参考とする。

【実施期間】 令和4年9月15日から10月7日まで

【対象者数】 市政モニター84名

【回答者数】 67名（回答率 79.8%）

ご協力いただき
ありがとう
ございました！



会津若松市UDキャラクター
ゆにばくん

《アンケート結果の見方》

(1) 調査の数値

- ① 調査結果の数値は、原則として回答率（%）で表記しています。
- ② 数値は、小数第二位を四捨五入し、小数第一位まで表示しています。そのため、選択肢の数値（%）をすべて合計しても、四捨五入の関係で100%にならないことがあります。

(2) 図表の見方

- ① グラフや表の中で、アンケート調査票の選択肢の文章が長い場合、要約して短く表現している場合があります。
- ② 比較分析などの際に調査項目がなかった場合、図表に「-」と表示しています。
- ③ グラフの中で、回答がなかった場合等にスペースの都合上「0.0」の表記を省略している場合があります。

(3) 自由意見について

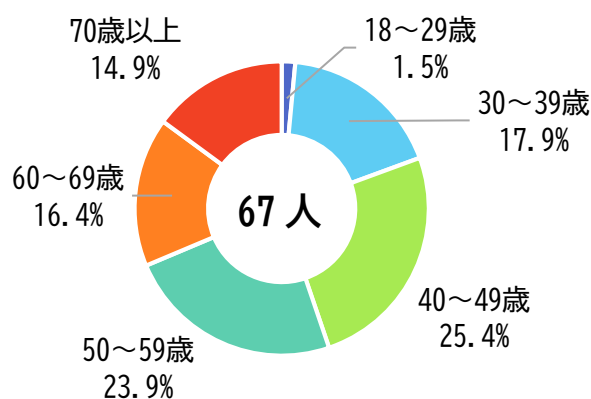
明らかな誤字・脱字等の訂正を除き、原文のまま掲載しています。

【アンケート結果】

※問1は回答者の氏名を問う設問のため省略

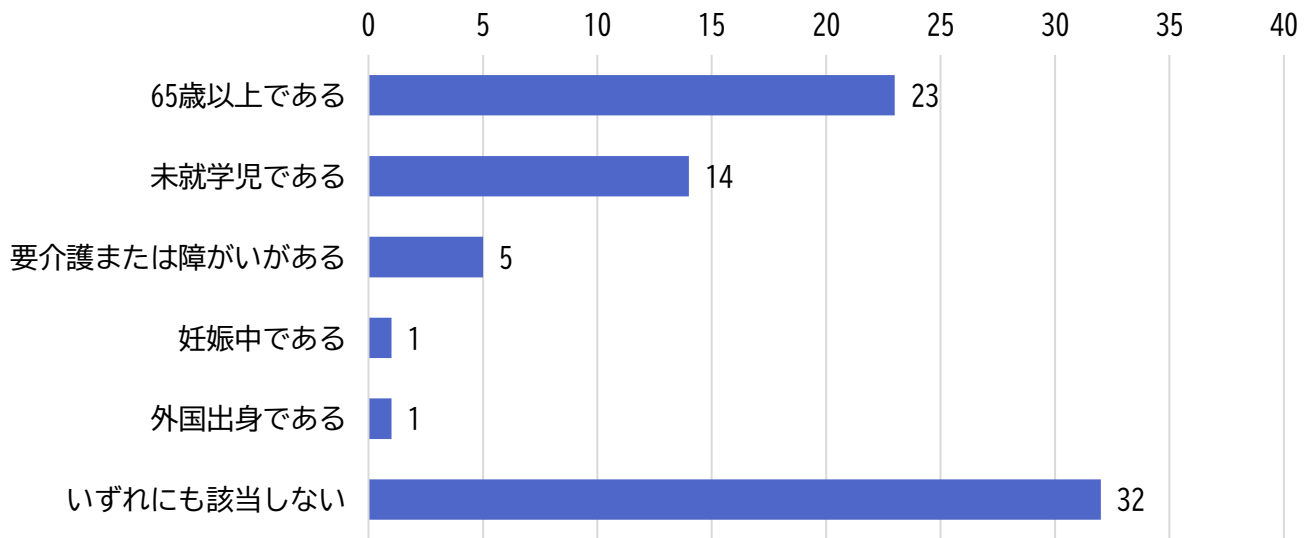
問2：あなたの年齢は次のどれにあたりますか。

項目	人数(人)	割合
18～29歳	1	1.5%
30～39歳	12	17.9%
40～49歳	17	25.4%
50～59歳	16	23.9%
60～69歳	11	16.4%
70歳以上	10	14.9%



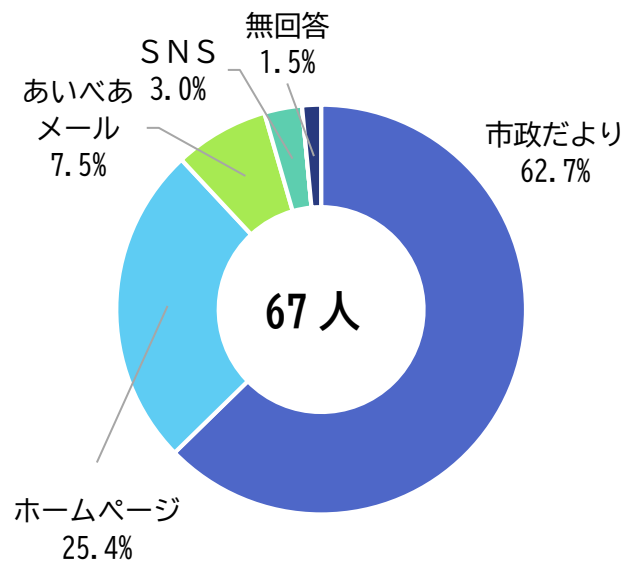
問3：あなた、もしくはあなたと同居する方が次のどれに該当するか教えてください。
 (あてはまるものをすべて選んでください。)

(単位:人)



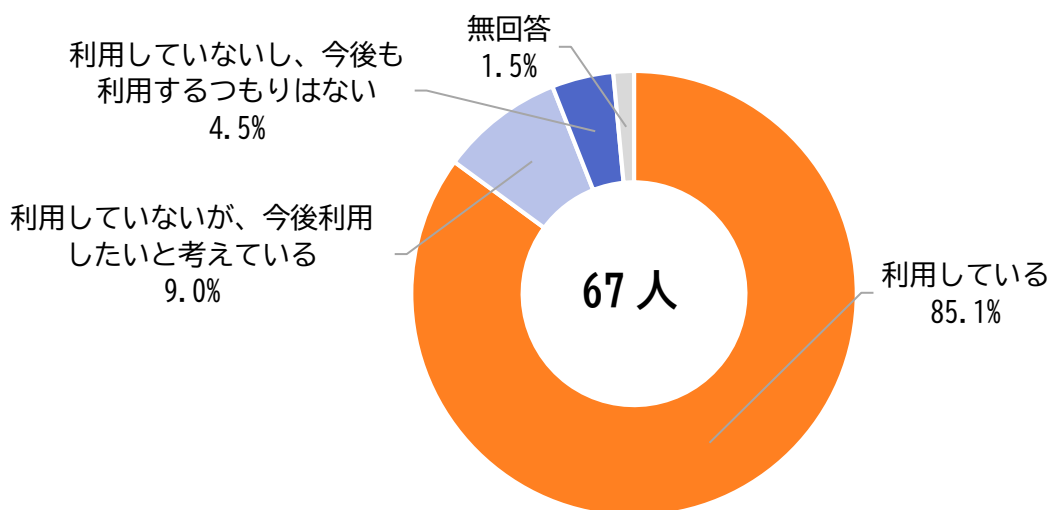
問4：市が発信する情報を収集する方法として最も利用する頻度が多いのは次のどれですか。
 (あてはまるものを1つ選んでください。)

項目	人数(人)	割合
市政だより (同時配付のチラシも含む)	42	62.7%
ホームページ (会津若松プラスも含む)	17	25.4%
あいばあメール	5	7.5%
SNS (フェイスブック、ツイッターなど)	2	3.0%
FMラジオ	0	-
その他	0	-
無回答	1	1.5%



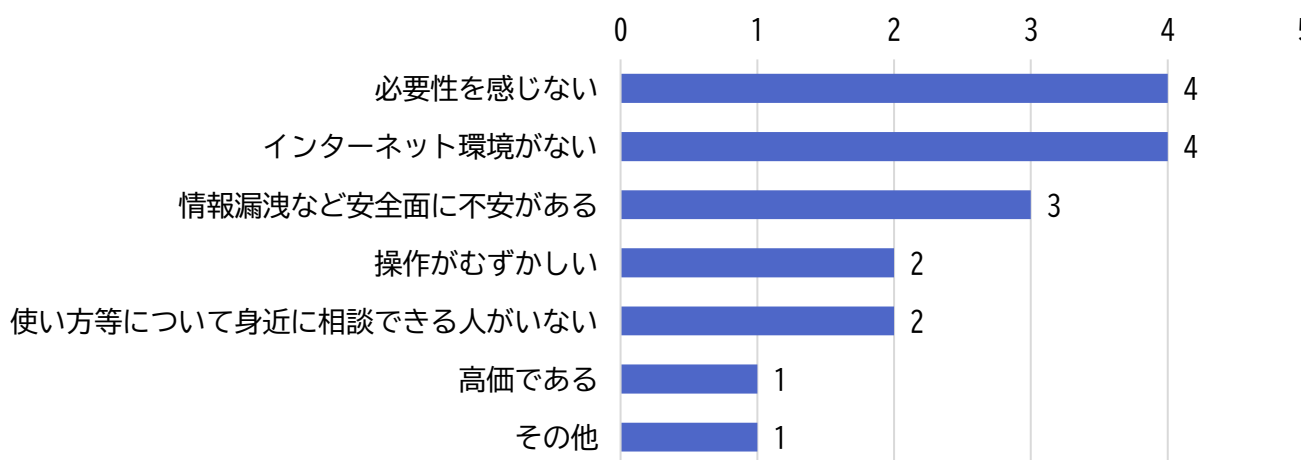
問5：情報収集の手段としてインターネットを利用していますか。
 (あてはまるものを1つ選んでください。)

項目	人数(人)	割合
利用している	57	85.1%
利用していないが、今後利用したいと考えている	6	9.0%
利用していないし、今後も利用するつもりはない	3	4.5%
無回答	1	1.5%



問6：問5で「2.利用していないが、今後利用したいと考えている」、「3.利用していないし、今後も利用するつもりはない」と回答した方に伺います。利用していない理由を教えてください。(あてはまるものを3つまで選んでください。)

(単位:人)

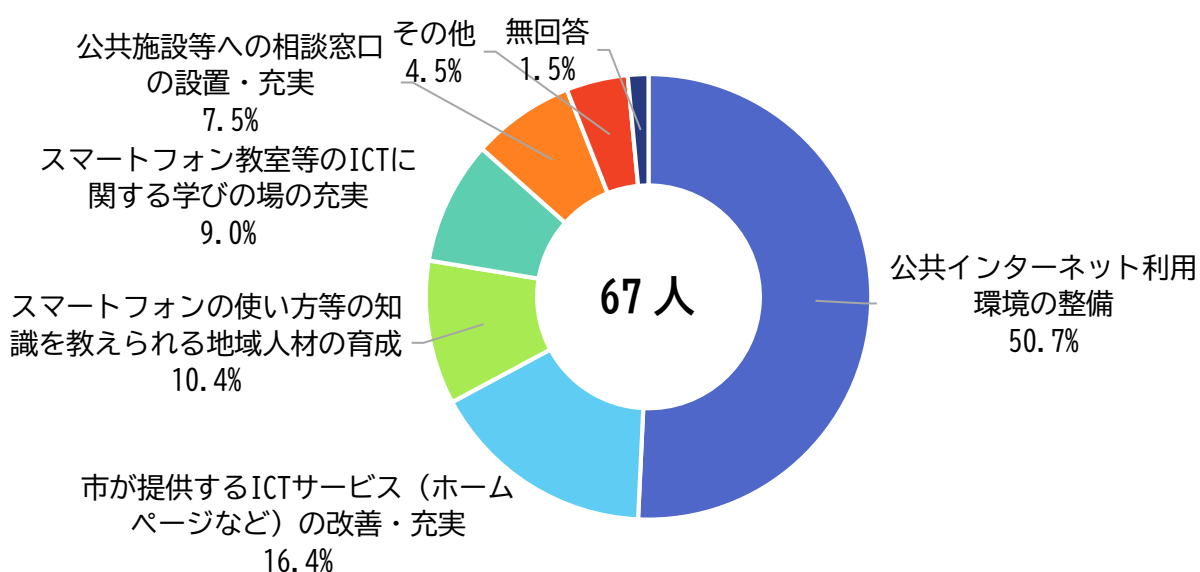


【「その他」の内容】

- ・必要時に息子に調べてもらう

問7：情報収集の手段としてインターネットを利用しやすい環境にするためには、どのような仕組みや支援が必要だと考えますか。（最もあてはまるものを1つ選んでください。）

項目	人数(人)	割合
公共インターネット利用環境の整備（フリーWi-Fiの設置・増設など）	34	50.7%
スマートフォン教室等のICTに関する学びの場の充実	11	16.4%
スマートフォンの使い方等の知識を教えられる地域人材の育成	7	10.4%
公共施設等への相談窓口の設置・充実	6	9.0%
市が提供するICTサービス（ホームページなど）の改善・充実	5	7.5%
その他	3	4.5%
無回答	1	1.5%



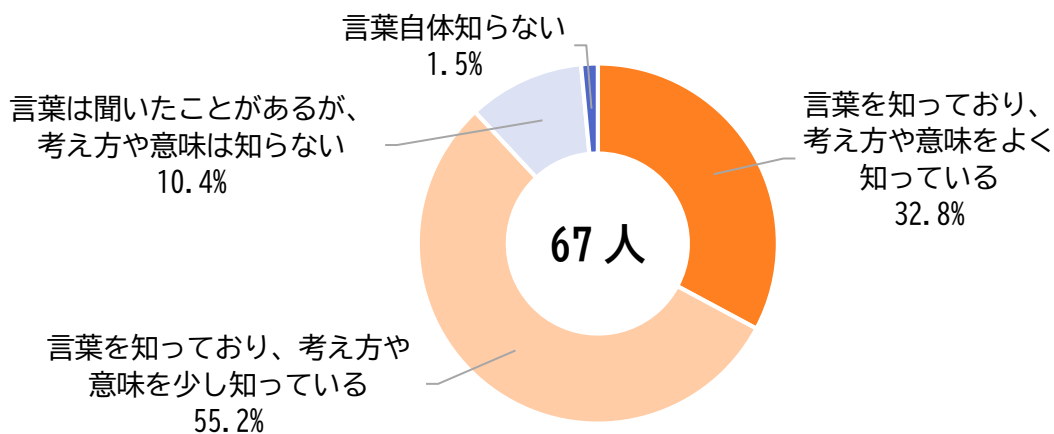
【「その他」の内容】

- ・環境ではなく人の問題だと思う
- ・無料の検索用PC、タブレット等の設置
- ・経済的理由が大きい。具体的支援策を市として実施できるか

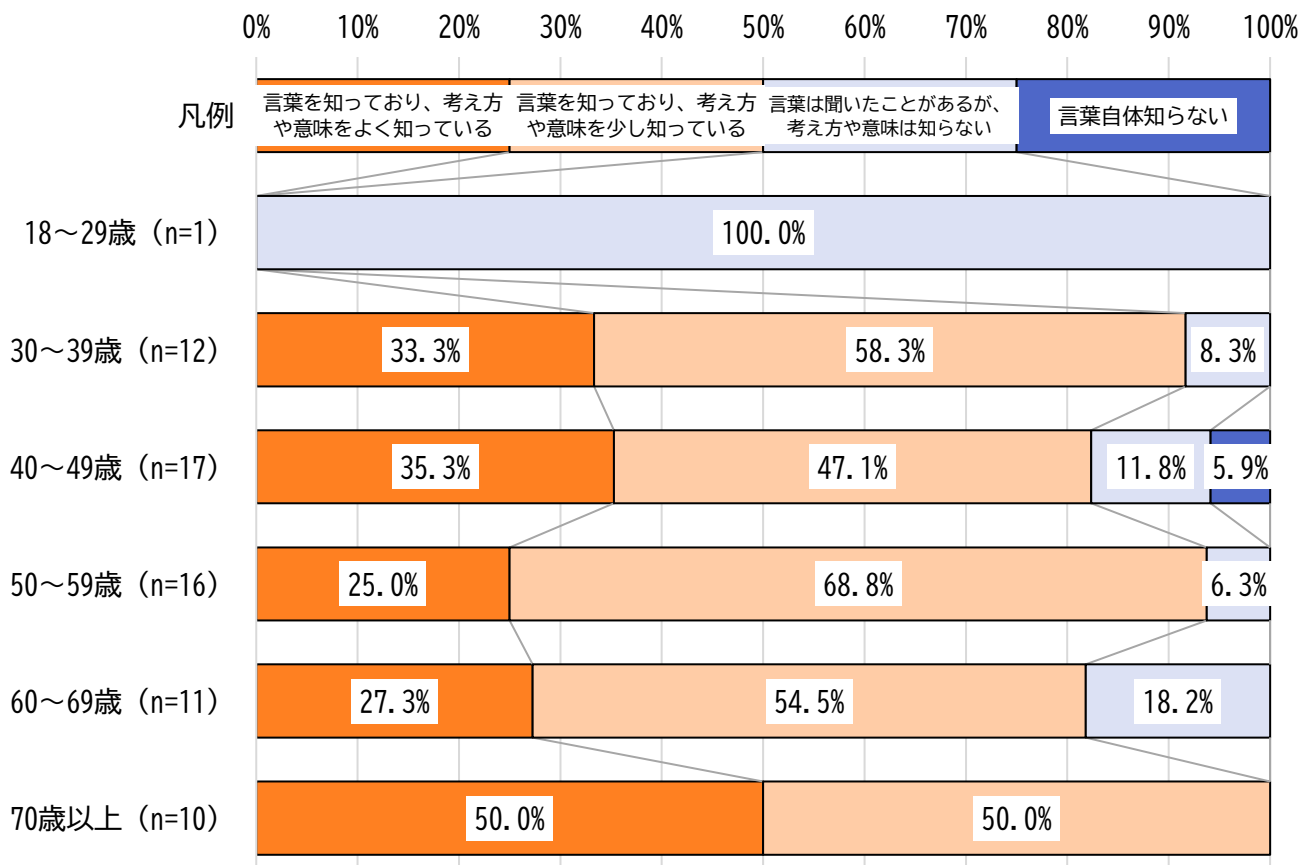
2. ユニバーサルデザインについて伺います

問8：あなたは、ユニバーサルデザインという言葉を知っていますか。(あてはまるものを1つ選んでください。)

項目	人数(人)	割合
言葉を知っており、考え方や意味をよく知っている	22	32.8%
言葉を知っており、考え方や意味を少し知っている	37	55.2%
言葉は聞いたことがあるが、考え方や意味は知らない	7	10.4%
言葉自体知らない	1	1.5%

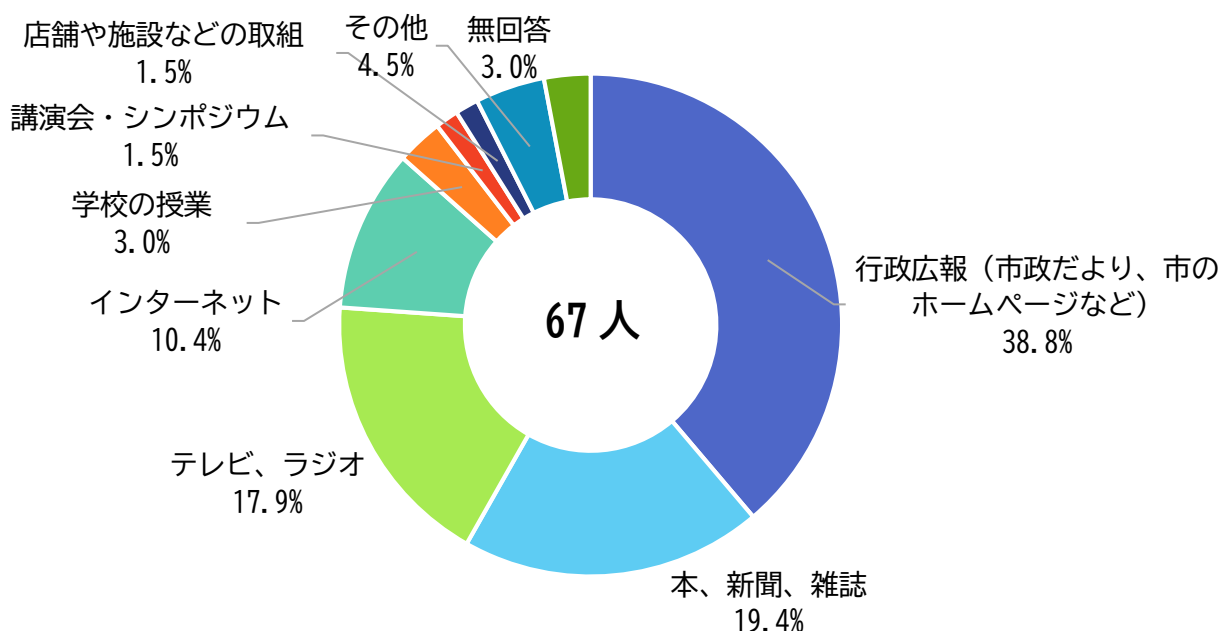


【年代別】



問9：問8で「1. 考え方や意味をよく知っている」、「2. 考え方や意味を少し知っている」、「3. 考え方や意味は知らない」と回答した方に伺います。「ユニバーサルデザイン」という言葉をどのようにして知りましたか。(あてはまるものを1つ選んでください。)

項目	人数(人)	割合
行政広報（市政だより、市のホームページなど）	26	38.8%
本、新聞、雑誌	13	19.4%
テレビ、ラジオ	12	17.9%
インターネット	7	10.4%
学校の授業	2	3.0%
講演会・シンポジウム	1	1.5%
店舗や施設などの取組	1	1.5%
その他	3	4.5%
無回答	2	3.0%

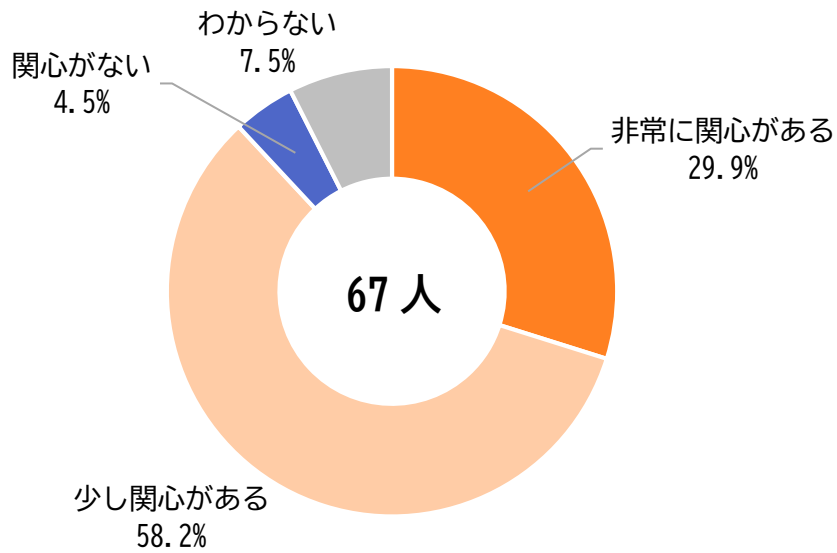


【「その他」の内容】

- ・ 職業柄
- ・ 小学生時代の子供の宿題を通して
- ・ ボランティア活動での講習会で

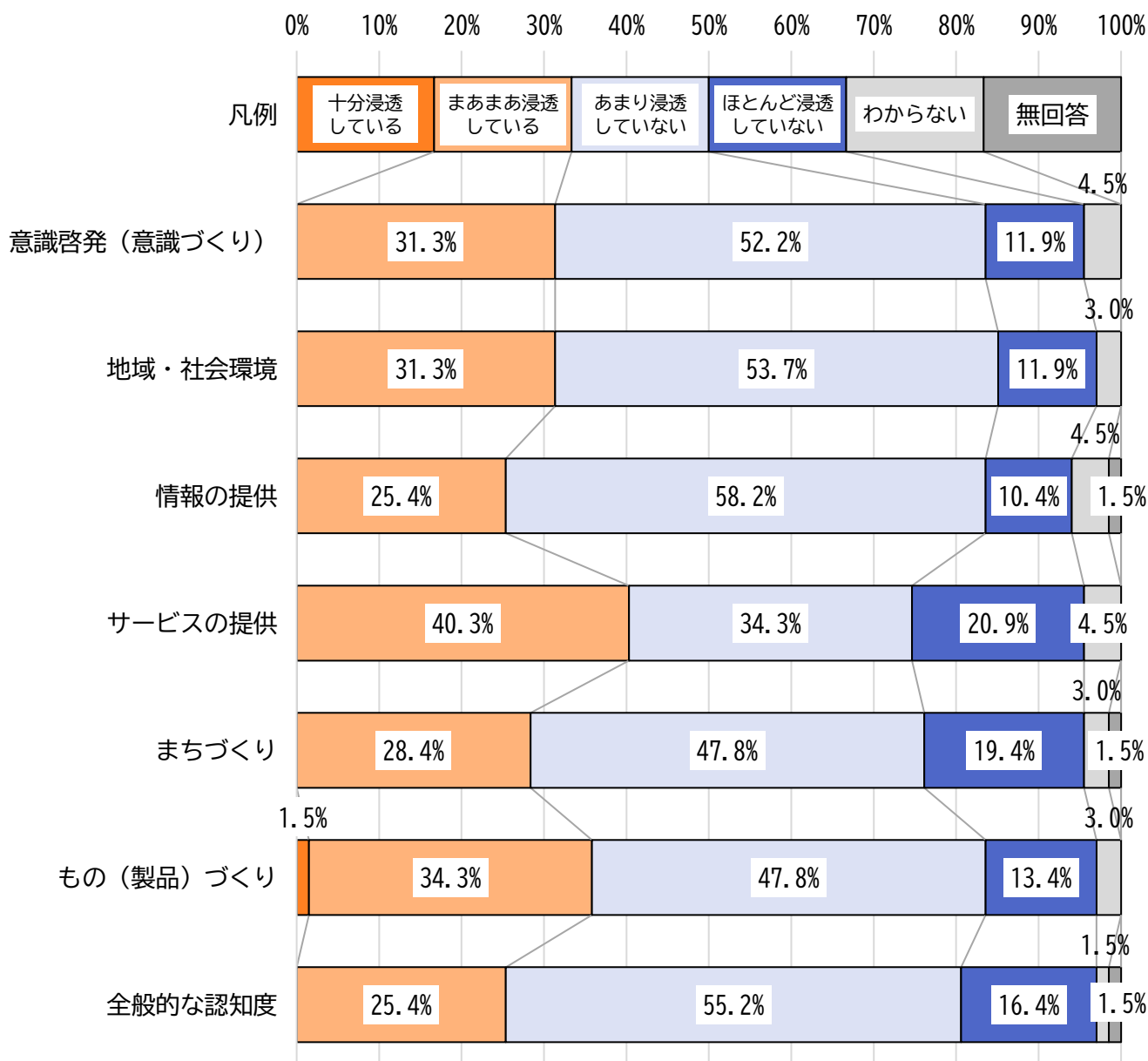
問 10：あなたは「ユニバーサルデザイン」に関心がありますか。(あてはまるものを1つ選んでください。)

項目	人数(人)	割合
非常に関心がある	20	29.9%
少し関心がある	39	58.2%
関心がない	3	4.5%
わからない	5	7.5%



問 11：あなたの日常生活の中で、下にあるそれぞれの分野のユニバーサルデザインやその取組が、どの程度浸透していると思いますか。（それぞれあてはまるものを1つ選んでください。）

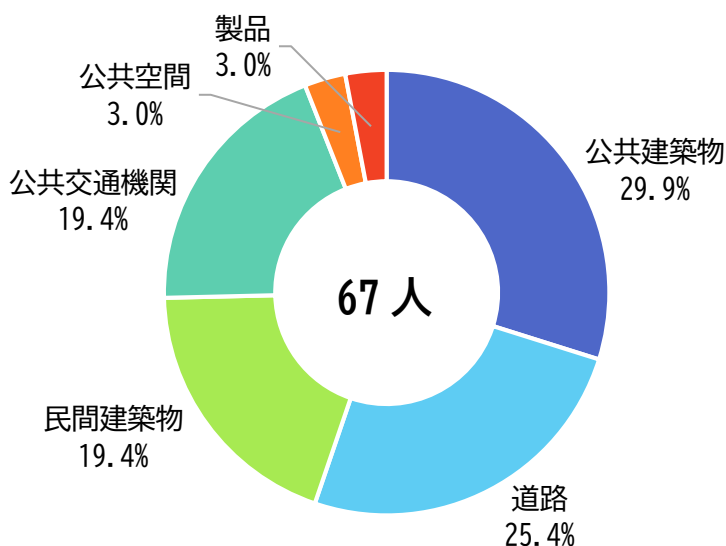
項目	内容
意識啓発(意識づくり)の取組について	思いやりやおもてなしのこころを育む取組、ユニバーサルデザインの必要性や重要性についての啓発など
地域・社会環境について	地域での支え合い、交流の場づくり、防犯・防災などの安全・安心な環境づくり
情報の提供について	様々な手段による情報提供、分かりやすい情報提供、情報収集のしやすさ、情報の利用しやすさ
サービスの提供について	手続きの簡素化、気配りある対応など
まちづくりについて	施設設備、道路、公園、公共交通など
もの(製品)づくりについて	誰もが使いやすい製品の開発、普及など
全般的な認知度について	「ユニバーサルデザイン」という言葉やその意味



問 12：あなたが、ユニバーサルデザインの考え方を特に導入していくことが必要だと考えるのはどれですか。（「ハード面」「ソフト面」それぞれにあてはまるものを1つ選び、その理由をお書きください。）

【ハード面】

項目	人数(人)	割合
公共建築物（庁舎、公民館・市民センター、市営住宅、学校 等）	20	29.9%
道路（歩道、車道）	17	25.4%
民間建築物（商業施設、商店街、宿泊施設 等）	13	19.4%
公共交通機関（バス、タクシー、鉄道） ※車両のほか、附属する施設・設備も含む	13	19.4%
公共空間（公園、広場 等）	2	3.0%
製品	2	3.0%



◎具体的に導入が必要と考える理由

【公共建築物（庁舎、公民館・市民センター、市営住宅、学校 等）】

年代	回答
10～20代	多くの人利用しやすい場所
30代	子供達がいやすいようになつたら良いのかなと思うからです
30代	市町村の中心施設は整備されてきているが、年数の経つた建物はまだまだ多く、ユニバーサルデザインを導入できていないと感じる。
30代	まずは公共物から
40代	誰もが利用するところだから。
40代	一番ややこしくわかりにくいシステムのところなので
50代	利用頻度が高いため
50代	選挙の投票所での段差がないよう、車椅子常備の必要性、車椅子の高さで記入できる様に机の高さ、目が不自由な人へのサポートなど必要性を感じます

年代	回答
50代	利用者優先で
50代	子連れの親子から高齢者まで、室内で過ごせる場所があればいい
50代	まずは市民全体でつながりのある公共の場で必要
60代	費用の面、広報の面を考慮すれば、公共建築物等が適当と思う。
60代	先ずは、公共性の高い施設で、多くの方の質の高い要望を実現していくことが、広く浸透する条件と考える。
70歳以上	公共建築物は市民が集まるところなので、ここからユニバーサルデザインを広げていけばよいと思う。
70歳以上	ほとんどの住民が利用する場所である

【道路（歩道、車道）】

年代	回答
30代	全ての人が利用するから
40代	会津若松市、自転車が走れる道路ではない。特に車道を走らなければいけないが、あまりにも凸凹しすぎでとてもじゃないが走れない。という事は歩道を走るわけで。車いす、歩行者にも結果迷惑がかかる。
40代	安全にも関わるから
40代	皆にわかるように
40代	冬季の歩道での安全性向上
40代	歩道は表示など消えていたりする。最低限考えたほうがいい。
50代	自転車が車道を走らず(走れず?)、歩道を暴走している いずれは死者が出ると思わせるほど荒れ果てている
50代	まずは安全第一だからです
50代	主要道以外がまだまだ時間かかりそう
60代	ユニバーサルデザインにこだわらずとも段差や凸凹など環境整備がなされていない。
60代	歩道の段差解消や拡幅などをさらに進める必要がある
70歳以上	道路の修復が頻繁に実施しているが雑な処理でデコボコ道路が多く歩道や自転車道路に段差が多く、特に高齢者に「優しくない道路」が多くユニバーサルデザインの後進と思われる
70歳以上	歩いていると危険がいっぱいある
70歳以上	道路はすべての人が利用する

【民間建築物（商業施設、商店街、宿泊施設 等）】

年代	回答
30代	公共施設でオムツ交換に困ったことはない（清潔・不潔、使いやすさは別だが）。しかし、民間施設ではオムツ交換スペースが十分でないことが多い。（例えば七日町パティオ→蔵造りで段差が多く、ユニバーサルトイレすらない）
30代	不特定多数の人の利用が多く目につきやすいから
40代	公共施設の充実化は当然であって、求めていくものは一般人がよく利用していくものであると思います
40代	公共建築物には用事がある時しか行かないが、商業施設には多くの人が日常で足を運ぶ機会があると思うから。そこでアピールしたほうが目につきやすい。
40代	物を買ったり、お金を出して利用したりするという行為は、ほぼ誰もが利用すると思うので。
50代	多くの人利用するから
50代	一番使う
60代	不特定多数の往来がある施設こそ必要性があると思うから。
60代	医療機関への導入が特に必要だと思います。 個人病院が全ての人に優しい作りになっておらず不便です。例えばトイレです。手すりもないところがあります。 車椅子では入れません。補助を検討して全ての医療機関のユニバーサルデザインの実現を望みます。
60代	公共の場はだいぶ進んでいると思いますが、人々が多く利用するところへの導入はまだまだです。
70歳以上	通路に物があつたり、自転車が置いてあつたりで戸惑っている姿に遭遇したから

【公共交通機関（バス、タクシー、鉄道） ※車両のほか、附属する施設・設備も含む】

年代	回答
40代	生活に直結しているから
40代	会津若松市においてはあがあるが今の駅の立地では多くの人が使いづらいであろうと感じるから。
40代	誰もが使いやすさを求めるため
50代	ユニバーサルデザインを利用する立場に立てば一番重要度が高い
50代	公共施設や市役所等に行く時に、交通機関に乗っての移動をしやすくするため。健常者もこのことについて、知る必要があると思うから。
50代	まだ意外と不便である
50代	高齢の家族が、自家用車の利用ではなく公共交通機関で便利に市内を移動できればいいと思います。

年代	回答
50代	特にバスを利用しますが、ユニバーサルデザインからは程遠いと感じます。付随する建物やトイレなど、狭く、汚く、利用者のことを考えているとは考えにくい。
60代	待ち時間の快適化（いす、屋根など）
60代	利用頻度が多いから
60代	たまに利用するとき、不便を感じる
60代	広い改札口にすることで車いすやベビーカーの人、大きな荷物などが通りやすいため、誰もが使いやすい
70歳以上	具体的設備がみられる

【公共空間（公園、広場 等）】

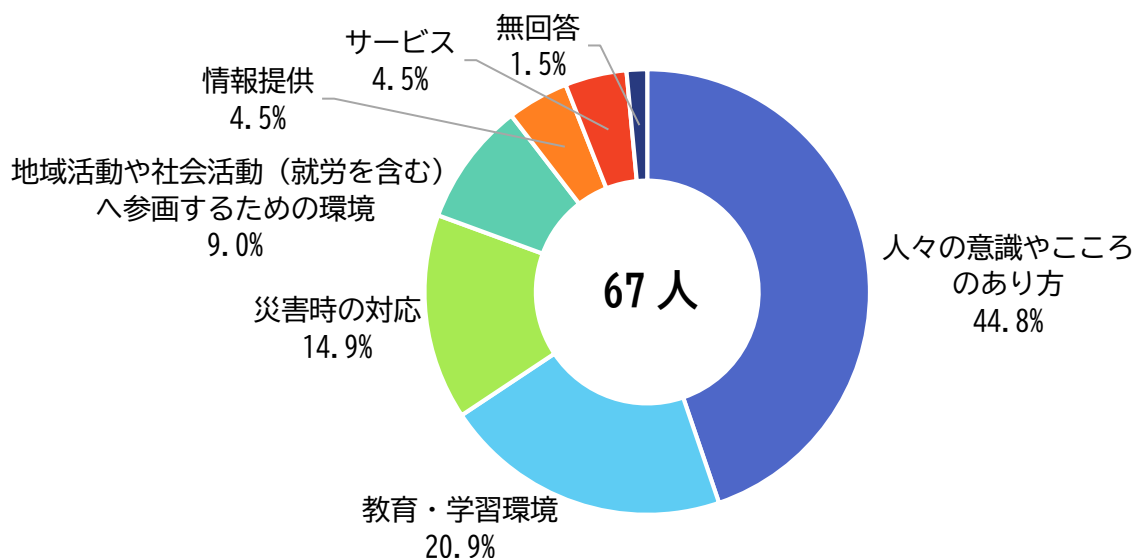
年代	回答
70代	地域を愛する心の育成。その為の環境を整備し実施するのが市の大きな役割と考える。

【製品】

年代	回答
30代	あらゆる製品でユニバーサルデザインを徹底すべきであると思うため。
40代	製品は、自宅で1人で使用する場合が多いと思うため。

【ソフト面】

項目	人数(人)	割合
人々の意識やこころのあり方	30	44.8%
教育・学習環境	14	20.9%
災害時の対応	10	14.9%
地域活動や社会活動（就労を含む）へ参画するための環境	6	9.0%
情報提供（ホームページ、印刷物、案内表示 等）	3	4.5%
サービス	3	4.5%
無回答	1	1.5%



◎具体的に導入が必要と考える理由

【人々の意識やこころのあり方】

年代	回答
40代	広く導入する一助になるため
40代	親しい人が増えればより良い社会ができると思うから。
40代	皆の意識改革
40代	上っ面でなく、マインドで！
40代	まず助け合える環境が必要だと思うため
40代	市民の意識を高める事が大切
50代	一人ひとりが思いやりの心や、意識がないといくら色々なところに導入しても、意味がないから
50代	内面からが大事と感ずるため
50代	多くの高齢者が、自分が世界の中心であるかのように我儘に振る舞っており、その意識の低さは目に余る

年代	回答
50代	家族が障がいを持っていますし高齢でなかなか外出の機会がありません 視力がほとんど無いため様々な社会参加の機会を失っています。選挙での投票サポートが無かったり、カードの申請が出来なかったり当たり前の権利が行使出来なかったりサービスが受けられなかったり不利な立場にあります。 目に見えないユニバーサルデザインにも注目して頂きたいと思っています
50代	自分や周りの人が、ユニバーサルデザインについて一定の理解が必要だと思う。学校に通う子供たちにも、学ぶ機会を設けるべき。
50代	人優先
50代	意識が育たないとその先にいけない
50代	人々の誰もが感じられることが必要
50代	これが変わらないと。
50代	人々の意識が一番遅れている
60代	すべての人が関心を持てるやさしい社会（環境）づくりが必要だから。
60代	人の心の意識が基本だと考えます。 そのために学校教育に積極的に取り入れてほしいです。
60代	外国人や障がい者等、老人との接し方や意識が外国と比べ低いように感じる
60代	言葉の認知度の底上げ。具現化できる人を増やす
60代	性別や人種・障がいのある方々などへの配慮は、まだ足りない面が多いと思います
70歳以上	人々の意識や心の在り方が変わればユニバーサルデザインは普及すると思う。
70歳以上	老若男女の全てに公平で安心できる社会にするための意識や方策を皆で考える必要から
70歳以上	地域を愛する心の育成。その為の環境を整備し実施するのが市の大きな役割と考える。
70歳以上	意識改革が必要である
70歳以上	情報取得にもう少し対応がほしい。 例：メールは着信しても回答が遅いか没情報となるときがある。

【教育・学習環境】

年代	回答
10～20代	誰でもわかりやすいよう伝えていくこと
30代	大人向けの参加しやすい講座があるといい
30代	子供達を知る事で大人も一緒になって知ることが出来るから
30代	地域を作るためには、こども達への教育が1番大切だと考えている。こどもへ教育するためには、地域の人々が実践していかなければいけない仕組みが必要になる。それらの相互作用が1番効果的に浸透すると考える。

年代	回答
30代	子供達に等しく教え、ユニバーサルデザインが当たり前という意識を育ててほしいから
40代	小学校などから基本を道徳で教える。
40代	まずは、学校現場で。
40代	知ることが大事だから
40代	発達障害の児童・生徒が息苦しくないよう、自由度の高いスタイルに変わって行ってもよいのではないかと思います。
40代	大人になってから考え方を変えるのは容易ではない。什の掟やあいづっこ宣言のように学校教育で早くから学んでいれば、大人になってからも忘れにくいのではないか。
50代	大人の学びを考えていかななくてはいけないように感じます。学び直し、もしくはスキルアップなど、地域内で学べる事が少ないように感じます。
60代	年齢や背景を問わず一度は一通り学ぶ機会があると良い。

【災害時の対応】

年代	回答
40代	自然災害の多い時代になってきているので、災害時の対応（助け合い）がとても大切だと思う。
40代	女性への配慮（安心・安全）
50代	自然災害の被害予測が、ちょっと不安です
50代	障がいのある人達などの、一般に比べると避難が容易でない人にも柔軟に対応してほしいから。
50代	人的災害を防ぐため
60代	緊急時の時こそ、この考え方が必要である。
60代	命を守ることが最優先
70歳以上	他人のことを気遣う余裕もなくなるので皆が安全にできるようにする心構えなどの通達
70歳以上	正直ほとんどわかりません

【地域活動や社会活動(就労を含む)へ参画するための環境】

年代	回答
40代	就労を含むという事で、より多くの人を対象にしていくと感じたから
40代	参加しやすい工夫が必要
60代	今自分がとても興味のある内容だから
70歳以上	ほかの会議（高齢者等）の中で話題となる
70歳以上	費用がやたらかかる。導入必要なし

【情報提供（ホームページ、印刷物、案内表示 等）】

年代	回答
50代	必要な情報を得る事で利用の糸口が開ける
60代	たくさん情報を発信してほしい

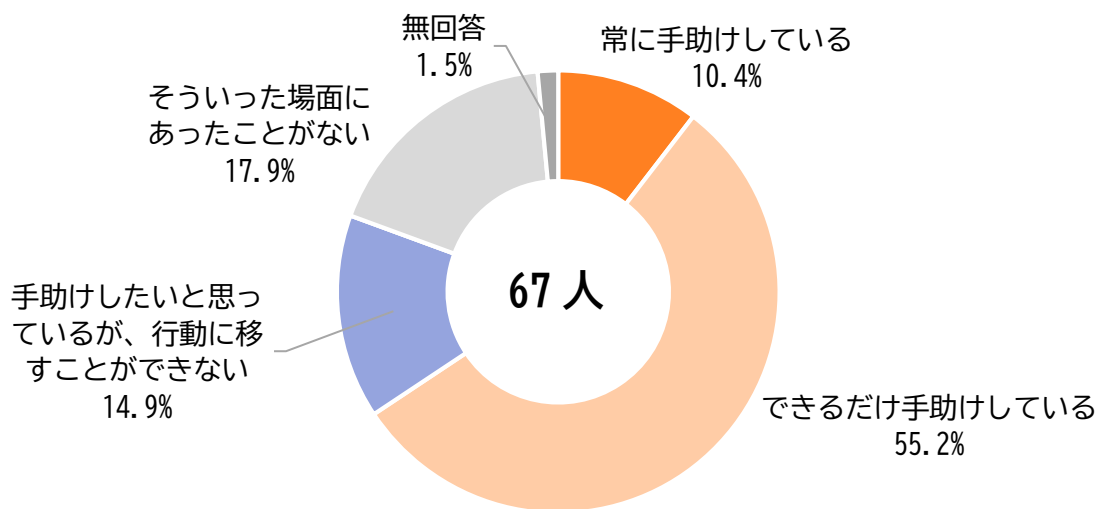
【サービス】

年代	回答
30代	あらゆるサービスでユニバーサルデザインを徹底すべきであると思うため。
60代	必要としている人への適切なサービスが行われることで、浸透していくのではないかと考える。

3. こころのユニバーサルデザインについて伺います

問 13: あなたは、車いすの方が段差で進めなくなっていたり、視覚や聴覚に障がいのある方が、迷っていたりした場合、手助けしていますか。(あてはまるものを1つ選んでください。)

項目	人数(人)	割合
常に手助けしている	7	10.4%
できるだけ手助けしている	37	55.2%
手助けしたいと思っているが、行動に移すことができない	10	14.9%
手助けしたくない	0	-
そういった場面にあったことがない	12	17.9%
無回答	1	1.5%



問13-1: 問 13 で「3手助けしたいと思っているが、行動に移すことができない」、「4手助けしたくない」と回答した方に伺います。その理由を教えてください。(あてはまるものを1つ選んでください。)

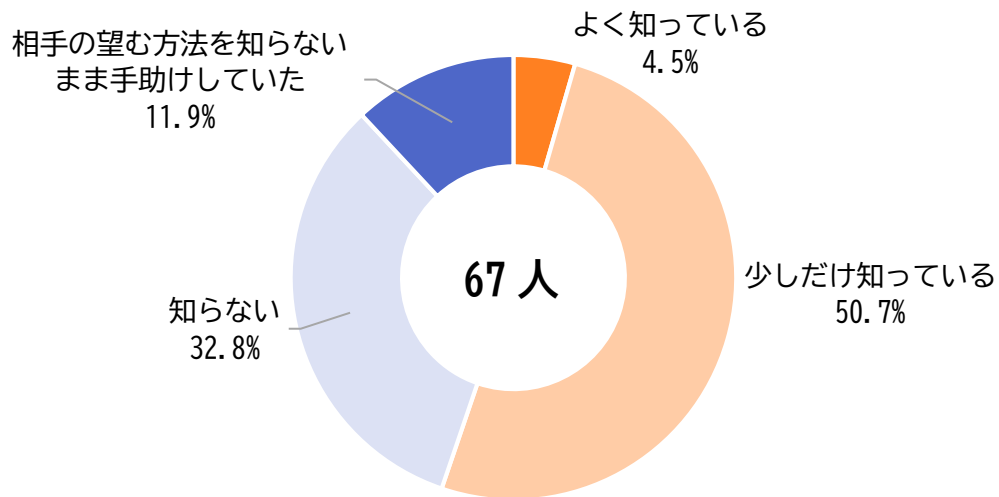
項目	人数(人)
手助けをしたくても対応方法がわからないから	4
かえって相手の迷惑になるといやだから	4
その他	2
計	10

【「その他」の内容】

- ・自身の心に勇気がないため
- ・迷ってしまう

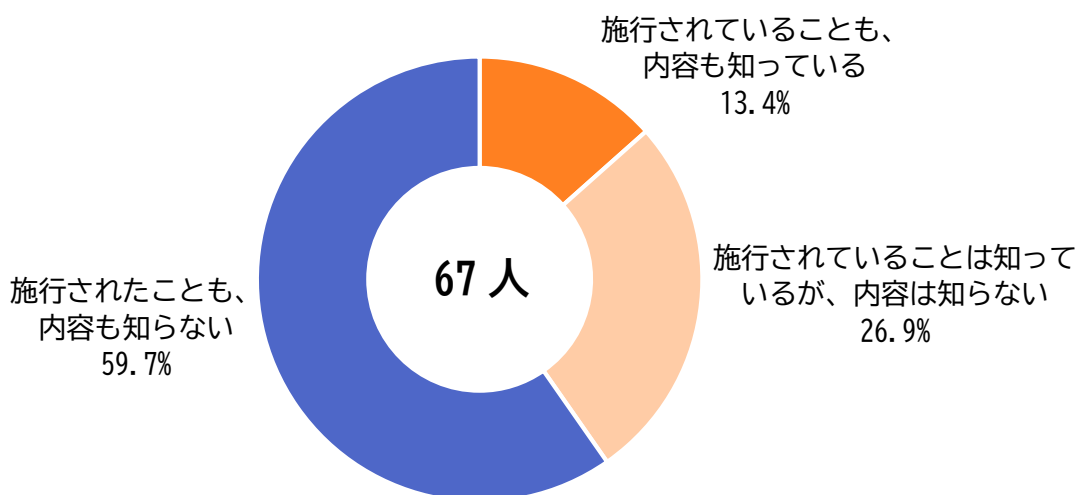
問 14：こうした困っている状況の方への声のかけ方や手助けの仕方を知っていますか。
(あてはまるものを1つ選んでください。)

項目	人数(人)	割合
よく知っている	3	4.5%
少しだけ知っている	34	50.7%
知らない	22	32.8%
相手の望む方法を知らないまま手助けしていた	8	11.9%



問 15：あなたは、障がいのある方への「合理的配慮」などが求められる「障害者差別解消法」についてご存知ですか。（あてはまるものを1つ選んでください。）

項目	人数(人)	割合
施行されていることも、内容も知っている	9	13.4%
施行されていることは知っているが、内容は知らない	18	26.9%
施行されたことも、内容も知らない	40	59.7%



【障害者差別解消法とは】

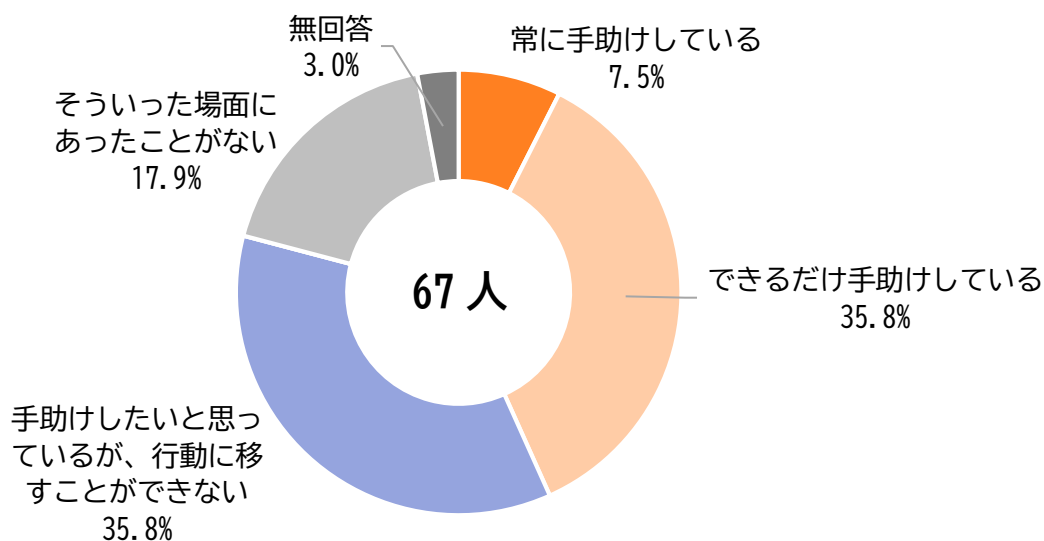
正式名は、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」

すべての人が障がいの有無によって分け隔てられることなく、互いに人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現につなげることを目的とした法律で、平成28年4月1日に施行されました。

この法律では、障がいを理由とする不当な差別的取扱いの禁止や合理的配慮の提供が求められています。

問 16：あなたは、外国の方が道や駅などで迷っていたりした場合、声をかけて手助けしていますか。（あてはまるものを1つ選んでください。）

項目	人数	割合
常に手助けしている	5	7.5%
できるだけ手助けしている	24	35.8%
手助けしたいと思っているが、行動に移すことができない	24	35.8%
手助けしたくない	0	-
そういった場面にあつたことがない	12	17.9%
無回答	2	3.0%

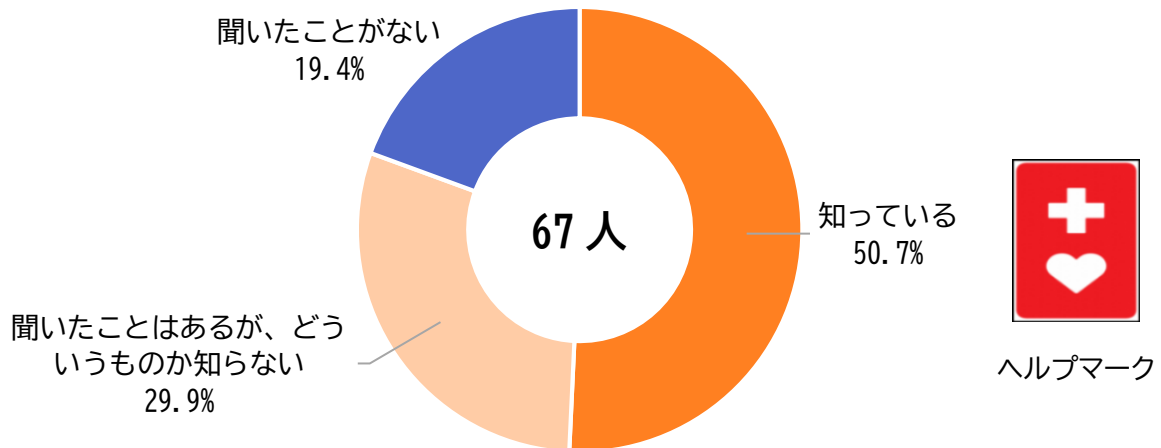


問16-1:問 16 で「3 手助けしたいと思っているが、行動に移すことができない」、「4 手助けしたくない」と回答した方に伺います。その理由を教えてください。（あてはまるものを1つ選んでください。）

項目	人数(人)
外国語が分からないから	18
かえって相手の迷惑になるといやだから	3
手助けをしたくても対応方法がわからないから	2
恥ずかしいから	1
計	24

問 17：あなたは、「ヘルプマーク（※）」を知っていますか。
 （あてはまるものを1つ選んでください。）

項目	人数(人)	割合
知っている	34	50.7%
聞いたことはあるが、どういうものか知らない	20	29.9%
聞いたことがない	13	19.4%

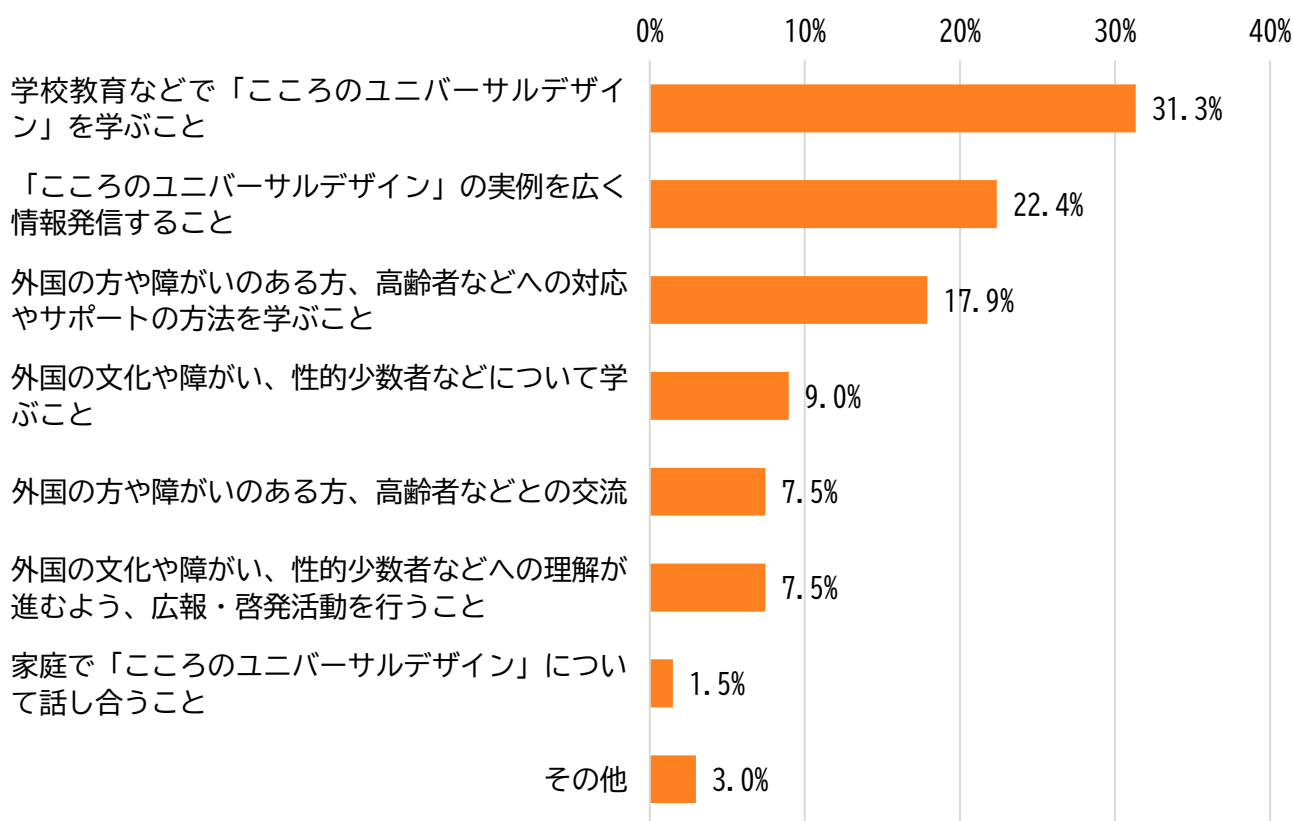


（※）ヘルプマーク：様々な疾患があったり、妊娠していたり、支援や配慮が必要であっても外見からはわかりにくい人が、支援や配慮を他の人に求めるために身につけるもの

問 18：「こころのユニバーサルデザイン」の実践のためには、どのような取組が必要だと思いますか。（最もあてはまるものを1つ選んでください。）

項目	人数(人)	割合
学校教育などで「こころのユニバーサルデザイン」を学ぶこと	21	31.3%
「こころのユニバーサルデザイン」の実例を広く情報発信すること	15	22.4%
外国の方や障がいのある方、高齢者などへの対応やサポートの方法を学ぶこと	12	17.9%
外国の文化や障がい、性的少数者（※）などについて学ぶこと	6	9.0%
外国の方や障がいのある方、高齢者などとの交流	5	7.5%
外国の文化や障がい、性的少数者などへの理解が進むよう、広報・啓発活動を行うこと	5	7.5%
家庭で「こころのユニバーサルデザイン」について話し合うこと	1	1.5%
その他	2	3.0%

（※）性的少数者：自分が感じる自身の性別（性自認）や、恋愛などの対象となる性別の方向性（性的指向）を理由に、生きづらさを感じている方々を総称する言葉。LGBTと称されることが多い。

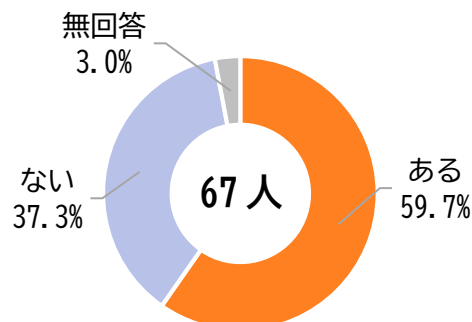


【「その他」の内容】

- ・ 市政だよりなどで目に触れる機会を増やす
- ・ いろいろな人がいるのでまとめるのは難しいと思うが広く浅いマニュアルがあるといいと思う。

問 19：あなたは日常生活で「ユニバーサルデザイン」を取り入れた施設や設備、商品、サービスなどを利用した経験がありますか。(シャンプーボトルの凹凸や駅の多言語表記、サービス等の内容など)

項目	人数(人)	割合
ある	40	59.7%
ない	25	37.3%
無回答	2	3.0%



問 19-1：特に重要だと思ったもの・利用しやすかったと思うものとその理由を教えてください。

【案内表示】

年代	回答	理由
30代	案内表示 (ピクトグラム)	ピクトグラムなどで案内がわかりやすく、トイレもおむつ替えなどのスペースがあり、使いやすかった。
30代	案内表示 (病院や駅など)	似たような空間であり、広いため迷いやすい。また、誰かに聞きづらい場面も多いが、表示を見るだけで解決できたり、また解決してくれる人やサービスに案内してくれたりするので非常に助かったことがあるため。
30代	案内表示 (多言語)	観光名所の多言語、デザインがわかりやすい
40代	案内表示	案内板
40代	案内表示 (ピクトグラム)	公共トイレ 理由：絵でわかるため
60代	案内表示 (表記の仕方)	多言語表記は多く見られるようになったが、漢字のルビや名称の正しい読み方などの充実も必要と感じる。
60代	案内表示 (ピクトグラム)	トイレなどの絵によるマークが非常にわかりやすいです。 高齢者や小さい子供にも一目でわかります。
60代	案内表示 (ピクトグラム)	多目的トイレ・絵文字での案内 利用する方は大変助かると思う。文字を読むより目で見て確認の方がすぐわかる
70歳以上	案内表示	表示が常にスムーズに利用可能となっていない設備がみられる。

年代	回答	理由
70 歳以上	案内表示（多言語）	駅やトイレ等の多言語表記は特に重要だと思った。 理由：若松も外国からの観光客が今後増加していくので、駅やトイレ等の多言語表記は充実すべきと思う。
70 歳以上	案内表示（ピクトグラム）	絵（デザイン）による表示。 理由：視覚的に判断し、行動ができる。

【施設・設備】

年代	回答	理由
30 代	施設・設備（自動販売機）	子供でもおつりが取りやすく、高さもちょうどよく高齢の人でも体勢を崩しにくく安全
40 代	施設・設備（駐車場）	
40 代	施設・設備（自動販売機）	低い位置にボタンや取り出し口がある自動販売機
40 代	施設・設備	店舗へ段差なく入れる
40 代	施設・設備（自動販売機）	自動販売機の小銭を入れるところ。 子供でも、指先が不自由な方であっても入れやすい形状だったため。
40 代	施設・設備（スロープ）	トイレ等、スロープ段差 理由：ベビーカーを利用していた時に利用しやすかった。
60 代	施設・設備（水飲み場）	稽古堂の水飲み場も高さを変えていて便利です。 利用しているのをよく見かけます。駅や公園にもあると良いです。
60 代	施設・設備（自動ドア）	公共・民間施設問わず、いずれも今では当たり前前の設備となっているから。
60 代	施設・設備（街の中に休憩するベンチ、多目的トイレ）	高齢の母を散歩させると疲れるので、ベンチがあり役に立った。広いトイレも車いすだと使いやすい。
60 代	施設・設備（自動ドア）	スーパーマーケットで買い物をして両手に荷物を持っていたり幼い孫を抱っこしていたりする時など、すべてに便利で実用的である
70 歳以上	施設・設備（公共施設・民間施設等の建物（商業施設等））	日常生活に密接になり利用する（している）もの
40 代	施設・設備（トイレ）	公共のトイレで中に入ったらセンサーが感知して電気がつくシステムはエコで良いと感じた。
50 代	施設・設備（トイレ）	SAの多目的トイレ

年代	回答	理由
50代	施設・設備（トイレ）	サービスエリアのトイレ。 ドアが丸っぽく弓なりになっており広く、ドアの開閉にもあまり力が必要なかった。
50代	施設・設備（病院のトイレ）	中が広く、汚れた衣服を着替える事ができたから
60代	施設・設備（トイレ）	多機能トイレ 理由：身体障害者だけでなく、子供を連れていたとき、足を怪我した時などにとてもよかった

【製品】

年代	回答	理由
50代	製品（ペットボトル）	デザインが掴みやすい
60代	製品	指の握力が無いので、ペットボトルを開ける器具
60代	製品	シャンプーとリンスの違いがわかり目をあけなくても良いので便利
40代	製品（食器）	食事で使うお椀。 お椀の下が凹凸になっており、持ちやすく出来ていた。とても利用しやすい物だと感じた。
60代	製品（食器）	熱が伝わりにくい食器

【その他】

年代	回答	理由
30代	その他	身近な物でユニバーサルデザインがある事は知っていたのでこれからも続けてあると良いと思う
50代	その他	特に意識して利用していないのでわからない。
50代	その他	利用した経験はあるけれど、いまいちパツとしなかった。取り組んでいます、って形にしたいからしょうがなくポーズとしてやっているだけ。

問 20：新型コロナウイルス感染症の流行下において各施設やお店等で実施している感染対策の中で、特にユニバーサルデザインに配慮されていたり、安心して利用できる、または便利だと感じたものや、より安心して施設等を利用するための感染対策におけるユニバーサルデザインに関するアイデア等があれば、お聞かせください。

例) 手で押さなくても、手をかざすと自動で液が出てくる消毒液ボトルの設置 など

(※) 類似した回答が多数のため、内容をまとめて記載しています。

【消毒・検温】

年代	内容
-	消毒液ボトルの形状（手をかざすと自動で消毒液が出てくるもの、足でペダルを踏むと諸毒液が出てくるものなど）(※)
-	入口等への非接触型体温計の設置 (※)
50代	買い物カートの取手を拭くウエットティッシュなど
60代	入口に全身を消毒できるシャワー

【接触機会の削減（自動化など）】

年代	内容
10～20代	自動で洗剤や水が出るトイレの手洗い トイレの自動洗浄
30代	病院受診など、なるべく留まらないことが大切だと感じる。そのために、効率的に受診できる仕組みや、予約サービス、車内待機などは非常に良い取り組みだと思う。ICT や既存の電話など、非接触で対応できるサービスの拡充によって、安心して病院の受診ができることは大切と考える。
30代	自動販売機も携帯で操作出来るようにしてほしい
40代	座席が間隔をあけるように配慮されている。
40代	セブンイレブンのレジが、自分でお金を入れるスタイルに変わり、店員さんとお金のやり取りをしなくてよくなったので感染リスクが減ったと思う。
40代	スーパーでスマホを使って、カメラでバーカードをスキャンして買い物をし、最終的にキャッシュレスで会計ができる。飲食店でテーブルの二次元コードをスキャンして自分のスマホから料理の注文ができることにより、店員との接触機会が減ること。
50代	非接触 AI ロボットによる対応など
60代	自動ドア

【案内表示】

年代	内容
40代	お店の滞在人数を表して換気の状態など知りたい
60代	「現在何名まで入店可能」などの表示により入店が可能かやめた方が良いかの判断が出来る。(飲食店など)
70代	消毒液のある場所がわからない時があるので、音（言葉）を発信するとよいと思う（知らせる）

問 21：その他、本市のユニバーサルデザインの推進に関し、ご意見やご提案などがありましたらお聞かせください。

年代	内容
10～20代	今回、ユニバーサルデザインについて、知ることができたので、今後の取り組みを楽しみに生活の中で気づかせていきたいと思います。
30代	世界中で様々な取り組みがなされており、参考にすべきものを取り入れると良いと思います。また、ナッジ理論の考え方も同時に取り入れることが、大切だと思います。
30代	特にないです
30代	私自身ユニバーサルデザインがどういうものか分かっておらず、知らない人はたくさんいると思う。 必要な人に必要なサポートはしていきたいと思っているので、ユニバーサルデザインについて手軽にネットなどで学べる機会があればいいと思う。
30代	ぜひ、ユニバーサルデザインを必要とする理由や身近にある物などの紹介を学校の出前講座のような形でお願いしたいです。 必要な人、必要な時がくるかもしれない事、子供達にユニバーサルデザインの背景など教える(知ってもらう)事は社会を良くすると思います。
40代	冬の除雪状況のお知らせ
40代	ユニバーサルデザインに対しての市民の理解を深めて欲しい
40代	誰もがユニバーサルデザインに興味を持つように学校で教えたり、市でイベント等があるといいと思います。
40代	市から封書での通知なども、項目数を最低限に減らし、より見やすくなればよいと思います。
40代	・道路の段差をなくし、線を見やすくしてほしい。 ・どの道も自転車、歩行者が安心して通れる幅の確保。
40代	ユニバーサルデザイン、障がいのある方などが暮らしやすいようになどと考えているが、そもそも健常者ですら暮らしにくい町。
40代	外見ではわかりにくい精神障がい者に対しての理解を深める機会を作ってほしい
40代	ユニバーサルデザインの一般的なものや、会津若松独自のものを市政だより等で案内すればいいと思う。
50代	買い物の移動手段が無く不便な人達(車・自転車の運転や、歩行が難しい人達)のための移動手段が多くなること。
50代	ユニバーサルデザインが必要な方々に人の心が伝わるような、人が関わるような仕組みが必要なのではないかな？
50代	特になし。
50代	歩道が拡がり、自転車、車とのゾーン分けを進めて欲しい
50代	ユニバーサルデザインの公共施設や道路がどこにあるのかが分かりません。 市政だよりのスペースを利用して、場所を教えて欲しい。
50代	観光地なので、他地域からの訪問者が気づけるような場所に設置し、会津若松市が取り組んでいることをより知ってもらう

年代	内容
50代	LGBとTは全く違うことなので、そうした人たち(活動家ではない普通の人たち)の話をしっかりと聞いた方が良いと思います
50代	ない
50代	国や県から言われて仕方なくやっている市じゃ、どうにもならない。
60代	一般への浸透は低いと感じます。簡潔で明瞭な案内が効果的と考えます。
60代	一方通行の標示をわかりやすく。観光客の方が入ってきてしまう。
60代	新庁舎では先進的にいろいろな場所でユニバーサルデザインを考慮したものになるよう願っています。
60代	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの問診票が施設ごとに置いてあるが、記入が面倒です。マイナンバーが普及したらかざすだけで回答できる仕組みなどあったら良いと思います。 ・全ての個人病院にユニバーサルデザインを導入できる制度の推進(補助金を交付して導入できるようにする)。
60代	特になし。
60代	市の関係団体、施設での啓蒙
60代	近頃は、ユニバーサルデザインもよく見かけるようになりました。市政だよりでも取り上げていただき、自分なりに取り組んでいきます。
60代	特になし
60代	市内のいろいろなところに「ユニバーサルデザイン」の考えに沿ったサービスを導入してほしい。
60代	歩道や公園の出入り口の段差を解消してほしい。歩道の道幅も広く取ってほしい。車いすやベビーカーを使っている人は不自由に感じて困っています。
70歳以上	推進方法をネットに頼りすぎている。高齢化社会でネットの環境が整わない世帯が多くなっていると思う。
70歳以上	毎年この件に関しアンケートを取っているが、良いことだと考える。
70歳以上	すでに実施されている「実例」をもっと紹介して欲しい
70歳以上	ユニバーサルデザインの考え方、そのものが市の仕事である。その為に税金の使用法について考えるのが議会で、それを具体化していく過程がすべての市民を意識しての活動であるべきと考える。一部の者に利用されないよう配慮することも大切と思う。
70歳以上	生活していて一番気になるものは大切な電柱が、とても邪魔です。
70歳以上	市政だよりなどで、利用されている情報を載せるべきではないでしょうか。
70歳以上	車道と歩道の上に段差がなく十分なスペース。自転車、歩行者にとって安全で大変良い。しかし敷いたレンガが緩んでしまい、ガタコト、ガタコト…これではせっかくのユニバーサルデザインも形なしだ。行政の本気度がこれで見え見えだ。(野口英世青春通り)



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。